



2025年2月14日

各 位

会社名 東 洋 炭 素 株 式 会 社
代表者名 代表取締役会長兼社長兼 CEO 近藤 尚孝
(コード番号：5310 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画本部副本部長 高多 学
(TEL. 050-3097-4950)

通期連結業績予想と実績値との差異および剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

あわせて、当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、下記のとおり、2024年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本件につきましては、2025年3月28日に開催予定の第83期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

(1) 2024年12月期の連結業績予想と実績値との差異

(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	54,000	10,900	10,500	7,600	362.38
実績値 (B)	53,093	12,238	13,480	9,960	474.95
増減額 (B-A)	△906	1,338	2,980	2,360	—
増減率 (%)	△1.7	12.3	28.4	31.1	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	49,251	9,283	10,182	7,506	357.91

(2) 差異の理由

2024年12月期におきましては、売上高はほぼ計画どおりの結果となりましたが、為替レートが想定より円安で推移したことや、高付加価値製品の販売拡大により限界利益が増加したこと等により、営業利益は計画を上回りました。また、営業外収益に為替差益を、特別利益に補助金収入をそれぞれ計上したこと等により、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は計画を大幅に上回りました。

2. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年2月14日公表)	前期実績 (2023年12月期)
基準日	2024年12月31日	同左	2023年12月31日
1株当たり配当金	145円00銭	120円00銭	110円00銭
配当金総額	3,040百万円	—	2,306百万円
効力発生日	2025年3月31日	—	2024年3月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、長期的な競争力の強化と企業価値の向上を目的として、戦略的に投資を行うとともに、各事業年度の経営成績、将来の事業展開や経営基盤の強化に向けた資金需要等を総合的に勘案し、配当性向 30%以上の安定した利益還元を継続して行うことを基本方針としております。内部留保金につきましては、生産関連設備投資、新製品開発および研究開発投資等に充当する所存であります。この方針のもと、2024年12月期連結業績における利益水準や財務状況、次期以降の見通し等を総合的に勘案し、2024年12月期の期末配当を期初予想から25円増配し、145円に修正することといたしました。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績 (2024年12月期)	—	145円00銭	145円00銭
前期実績 (2023年12月期)	—	110円00銭	110円00銭

以上